

B スーパーサイエンスハイスクール国際交流事業

(1) 研究開発の課題（研究概要）

SSHの指定を受けて以来、未来を担う科学技術系人材を育てることをねらいとして、理数教育の充実を図ってきた。昨年度より英国ラドリー・カレッジとの国際交流を始め、生徒が国際人としての資質を磨き、英語によるコミュニケーション能力を身に付けることによって、先進的な科学技術の場で活躍できる国際感覚に優れた人材になることを目指す。

(2) 研究開発の経緯

ラドリー・カレッジとの国際交流事業を始めるにあたり、平成24年に、実施時期・内容について話し合いを始めた。ラドリー・カレッジは、その設備は校舎・運動設備・劇場・寮等、すべてにおいて整備されており、教育水準も高く、交流事業をすすめていくのにふさわしい学校である。交流を通じて、本校生徒が英語によるコミュニケーション能力を身に付けるだけでなく、様々な経験を重ね視野を広げることで、将来の可能性を広げることができるかと確信しこの事業を継続していくことになった。

(3) 研究開発の内容

1 交換留学生受け入れについて（10月17日～10月24日）

ア 仮説（ねらい、目標）

留学生とのコミュニケーションを通じて、英語を道具として使う機会をもつ。

留学生へのプレゼンテーションや意見交換、部活動交流などを通し、国際感覚を育成すると共に自国の文化を再認識する機会をもつ。



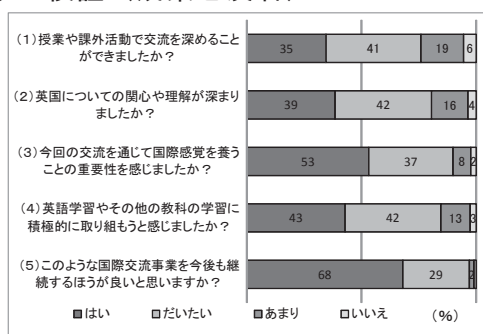
イ 研究の内容・方法

対象生徒 1～2年全学級

実施場所 本校 各教室、実験室など

実施内容 英語の授業では、各クラスのテーマに沿って事前に準備したプレゼンテーションを留学生の前で行う。理科の授業では、留学生が化学と物理の実験に参加した。

ウ 検証（成果と反省）



プレゼンテーションのテーマは日本文化、食文化、科学技術、エネルギー問題など多岐にわたり、生徒たちはプレゼンテーションソフトや小道具を用いて発表内容を分かりやすくするために様々な工夫をしていた。理科の実験では、実験方法について一緒に考えたり、議論する姿が見られた。

生徒の感想から

- ・ イギリス英語や文化に触れて、普段私たちが学んでいるアメリカ英語や文化とは異なる雰囲気を感じた。まだまだ視野を広げて、多くのことを学ぼうと思った。
- ・ 日本のことをもっと深く学ばなければと再認識する機会になった。

2 交換留学生派遣について（3月3日～3月10日）

ア 仮説（ねらい、目標）

英国ラドリー・カレッジとの国際科学交流を通じて、広い見地から世界を見渡すことができる国際性や研究者に求められる英語コミュニケーション能力、海外活動に対する意欲の向上を図る。環境の異なる場で学ぶことにより、英語力を身に付けるだけでなく日本における自らの学習や研究に対する姿勢や方法を考えさせる。

また英語でのプレゼンテーションを通じて自信をつけさせ、将来の国際的な活動に対する意欲を高める。

オックスフォードやロンドンを訪れ、世界屈指の展示物を誇るいくつかの博物館で研修することで、人類が現在の科学的な生活を手に入れた歴史を学ぶ。

イ 研究の内容・方法

対象生徒 2年生代表生徒8名（男子4名、女子4名）

実施場所 ラドリー・カレッジ、オックスフォード、およびロンドン

実施内容 化学、物理などサイエンスの授業を中心に参加し、実験・探究・プレゼンテーションを重視した授業を体験することで、自らの学習・研究に対する姿勢や方法を再考させる。

各派遣生徒が自身の研究について英語でプレゼンテーションを行い、ラドリー・カレッジの生徒と意見を交換する。また、愛知県立時習館高等学校のSSH グローバル企画であるサイエンスカンファレンスが、今年度はラドリー・カレッジで開催されるため、イギリス・ドイツ・日本の生徒らによるサイエンス発表を聴く機会をもち、また本校生徒もポスター発表に参加する。

オックスフォードやロンドンの博物館でワークショップや見学ツアーに参加し、英国の科学・文化に触れる。



ディスカッションの様子

ウ 検証（成果と反省）

派遣生徒たちは、ラドリー・カレッジの授業を受けて、サイエンス分野への興味や探究心が増したようである。また、積極的に質問をし、理解を深めようとするラドリー生の姿勢に感銘を受け、自らの学習に反映させたいと心新たにしている。

イギリスで出会った人たちが、自国の文化を重んじたり、芸術を大事にしていることにも深く感銘を受け、彼らも日本の文化・芸術を学ぶ決意をもったことは大きな収穫である。



生徒の感想から

・今回の研修で得た知識や経験を活かして、世界で活躍できるように努力をしていきます。

・イギリスの先進科学について学びたいと思い渡英したが、イギリス人が伝統や芸術を大事に生きているのを見て、人間として見習いたいと思った。